

西部中だより

西部中学校便り No 5

令和 7 年 2 月 7 日

文責 校長 吉牟田一広

夢を「語る」

2月2日（日）に、鹿島市少年の夢発表会が開催されました。本校からも2年生の2名が鹿島市民文化ホール（SAKURAS）で語りました。一本は、少年の主張佐賀県大会で最優秀賞に輝いた「西九州新幹線開業から思ったこと」。12月の50周年記念式典でも発表してもらいましたが、さらに力強さが増した主張でした。もう一本は、「母の優しさから生まれた私の夢」。その一部を紹介します。

私の母は、保育士です。母は保育園で一番怖い先生で有名でした。

私は、母の職場とは違う園に預けられていたため、母が保育園で一番怖い先生だということを知ったのは、小学校に入学したあとでした。小学生のとき、母の職場の卒園児であった2年生の先輩に話しかけられました。「先生の子どもさんでしょ」と。なんで母のことを知っているのか聞くと、「だって保育園で一番怖い先生で有名だもん」と言われました。その後も、違う人達から「あなたのお母さんは一番怖い先生だった。」と、何度も何度も聞くようになりました。私は、「どうせなら保育園で一番やさしい先生で有名になってほしかったな」と母の職業にあまり良い印象をもつことができませんでした。

去年の9月、私は職場体験で、保育園に行くことになり、私は、2歳児さんを担当しました。まだ言葉もままならず、とつてもわかりやすく言わないとお願いを聞いてくれず、とても大変でした。1日目に、園児同士でのおもちゃの取り合いが起きました。私と一緒に遊んでくれていた園児だったため、注意しなくてはならないのに、どうすればいいかわからず慌てていると、保育園の先生が代わりに注意してくださりました。「本当は注意したくなかったんだろうな、でも園児のことを思っているから、注意したくなくてもしなきゃいけないんだな」と感じました。その瞬間、母が頭によぎりました。母は、誰よりも園児のことを思っていたんじゃないかと。絶対に、なりたくて怖い先生になったはずはない。そう考えることができるようになりました。いまでも私は、母の職場の保育園に通っていた友達から、「あなたのお母さんは保育園で一番怖い先生だった。」と聞くことがあります。ですが、今は、「園児のことを一番に考えられる、保育園で一番優しくかった先生」と捉えることができ、私にとってはとても自信をもって自慢できる良い母であり、良い保育園の先生です。

…（中略）…私は将来、母を超える、自慢されるような保育園の先生になりたいです。

用意した原稿を読むのではなく、しっかりと「語る」ことができていました。「語る」ことを成立させるためには語りたいものが心の中にあること。そのためには、「ひと」「もの」「こと」と関わる体験が大事です。彼女にとっての職場体験がそうであったように、自分の生き方に自信と勇気を持つきっかけとなるような体験を、一つ一つ大切にしていかななくてはならないなと気付かせてくれた発表でした。

生徒会を「語る」

生徒会が代替わりするにあたり、新旧会長・副会長で思いを引き継ぎました。



◎「みんなが安心できる」ってどんなことだろう？

- ・みんなが朝から笑顔で「おはようございます！」
- ・授業中に誰かが意見を言ったときに、冷やかしたりとかバカにしたりとかなくて、拍手が起こるとか周りの温かい感じが実現したらいい
- ・自分の意見に自信をもって堂々としていることができる
- ・周りの人が助けてくれる、協力してくれる環境

・安心できるって聞くと、学校で起こる問題がゼロみたいなイメージがわくけど、学校生活を送る上でトラブルはあってしかるべき。ただ、その起きた問題から「次からは直そう」と思う人が多くなって、結果的に問題がゼロに近づいていく。それが安心できる学校。

協力し合って積極的に話し合いに参加して取り組んでほしい。みんなできり組めばいろいろなアイデアが出たり、自分一人だったら思いつかないことも他の人だったら思っていたりとか、みんなで協力するのはめっちゃう大事だから、みんなで楽しくやってほしい。



2025を「語る」

今年にける思いを各学年の代表が語りました。

【1年生】

- ・部活の先輩になるにあたって後輩から信頼されるような存在になる。
- ・去年コンテストに出場する先輩たちが、忙しい中でも私たちの練習の様子を見に来てくれた。
- ・そんな先輩たちをとて信頼している。
- ・新年度から先輩という立場になったとき、自分自身もこのように信頼される存在になりたい。



【2年生】

- ・「自分の思いや考えを伝える年」にしませんか？
- ・私達は、周りの目を気にして、自分の思いや考えを伝えるのを怖がってしまい、自分の意見言えなくなってしまうことがある。
- ・でも、体育大会で私は前向きな言葉の力が学級の雰囲気を変えることを知った。
- ・部活動で、メンバーと意見を言い合ったり、本音で話し合ったりすることで、心に残る、本当に大切な時間を過ごすことができた。
- ・このような経験を通して、私は言葉で伝えることの大切さを感じた。
- ・まだ私は人前で話すことが苦手。だから今年こそは、自分の思いや考えを伝える年にしたい。

【3年生】

- ・志望校に合格し、高校生活を充実させる。
- ・初めての受験なので緊張するけど、自信をもって臨めるように日々の学習を頑張りたい。
- ・新しく学ぶことに興味を持ち、多くの知識を身に付けられるように勉強したい。
- ・部活動では、中学校で身に付けた技術を高校でレベルアップさせたい。
- ・高校生になるという自覚を持って、残りの中学校生活を充実したものになりたい。

生徒の心の中にある「こうしたい」を尊重し、「こうなりたい」が実現するように、総がかりで生徒を支えていきましょう。「自分の思いや考えを伝える年」は「安心できる学校」の一つの形。生徒会の活躍にも大いに期待しています。